

# フッ素ゴム ダイエル G-501N

 TECHNICAL  
DATASHEET

ダイエル G-501N は、耐溶剤性と低温柔軟性のバランスが良好な三元系フッ素ゴムです。

## 概要

- ダイエル G-501N は、ポリアミンにより加硫可能なビニリデンフルオライド/テトラフルオロエチレン/ヘキサフルオロプロピレン共重合体の三元系フッ素ゴムです。圧縮成形に適しています。
- **耐溶剤性と低温柔軟性**のバランスが良好です。
- ポリオール加硫系各製品に混合し、加硫度の調整用としてもご使用いただけます。加硫剤・促進剤は含有していません。

## 一般物性—製品ゴム<sup>\*1</sup>

項目	データ	試験方法
外観	白色または淡黄色	目視
フッ素濃度	68.5 mass%	—
比重(23°C)	1.87	JIS K 6268
ムーニー粘度(ML <sub>1+10</sub> )	64(121°C), 37(140°C)	JIS K 6300-1
溶解性	低級ケトン・エステルに可溶	—

## 一般物性—加硫ゴム<sup>\*1\*2</sup>

項目	単位	数値	試験方法
100%引張応力	MPa	3.5	JIS K 6251
引張強さ	MPa	15.7	JIS K 6251
引張伸び	%	310	JIS K 6251
硬さ(Shore A)	—	78(peak), 74 (3sec)	JIS K 6253
低温弾性回復値(TR <sub>10</sub> )	°C	-13	JIS K 6261

<sup>\*1</sup> 上記数値は、代表値であり、保証値ではありません。

<sup>\*2</sup> [配合] ダイエル G-501N: 100 部, MT カーボンブラック (N990) : 20 部, 酸化マグネシウム(低活性): 15 部, 加硫剤 V-3: 3 部, [加硫条件] プレス加硫: 190°C×20min, オープン加硫: 200°C×24h

## 取扱方法／安全情報

- ご使用前に SDS とラベルに記載の注意事項を必ずお読み下さい。
- 当製品は一般産業用ですので、医療用途の原料としての適性や安全性について保証できません。

## 梱包仕様

- 20kg

For more information, visit our website.

**ダイキン工業株式会社**

<https://www.daikinchemicals.com/jp>

tds-g-501n-J\_ver01\_Nov\_2019  
Copyright (C) DAIKIN INDUSTRIES, LTD., 2019